

山からゴミをなくし、  
山岳自然を守る運動の輪を、  
日本の社会に、世界に広げよう

日本勤労者山岳連盟は、6月の第1日曜日を「全国いっせい清掃登山・クリーンハイクの日」として、今年も山からゴミをなくす活動に取り組みます。1974年に始まった全国いっせいクリーンハイクは、今年で43年目を迎えます。昨年は42都道府県連盟が取り組み、497の会・クラブで、総勢8,911人が参加し、ゴミを8,523kg回収しました。総じて登山道や山域ではゴミが少ないという報告がほとんどでした。しかし、登山道入り口の駐車場付近、観光客が訪れる場所、一般車が入る道路、一般キャンプ場、工事関係者、農業や林業従事者が入る場所には、まだまだゴミが多いという報告もあります。

1978年には労山趣意書が作られ、5章の「自然を守る」では、「豊かな自然は将来にわたる国民の共有財産であり、守り育てて行くことが登山者の責務である」、また、2006年に制定された労山の自然保護憲章では、「登山者のモラルを高め、山からゴミを一掃し、つちかった力で多面的な自然保護活動を広げて行く」、と高らかに唱っています。登山者が努力してきたゴミ清掃活動を、一般の人に、日本の社会に輪を拡げてゆく時代になりました。世界的にも、山の清掃活動が積極的に進められています。世界中にクリーンハイクの輪を広げるよう、山に来る一般の人にも、外国人にも、声をかけ呼びかけましょう。

#### 記

1. 山にゴミは捨てず、山からゴミを持ち帰りましょう。  
お花摘みのティッシュも必ず持ち帰りましょう。
2. 捨てられているごみを見つけたら、持ち帰るようにしましょう。
3. 登山者・ハイカーだけでなく、一般旅行者、外国人  
登山者・旅行者にも声をかけ、ゴミの持ち帰りを呼びかけましょう。
4. すべての登山者・ハイカーが山と緑の番人・山岳自然  
を守る番人としての自覚を持ち、山歩きを楽しみましょう。

2016年6月 日本勤労者山岳連盟